



【実施報告書】

海の祭の訪問/開拓

一般社団法人マツリズム

2020年11月30日



- 海の祭訪問/開拓について (p.2)
- 訪問に向けた準備 (p.4-5)
- 開拓した海の祭紹介 (p.5-13)
 1. とも旗まつり (p.5)
 2. ホーランエンヤ (p.6)
 3. 礼文島巖島神社例大祭 (p.7)
 4. 土崎神明社祭の曳舟行事 (p.8)
 5. 姥神大神宮渡御祭 (p.9)
 6. 琴浦精霊船行事 (p.10)
 7. 黒島天領祭 (p.11)
 8. 坂越の船祭り (p.12)
 9. 三谷祭り (p.13)
- 振り返り (p.14)
- 実施報告会について (p.15-16)

海の祭りの訪問/開拓について

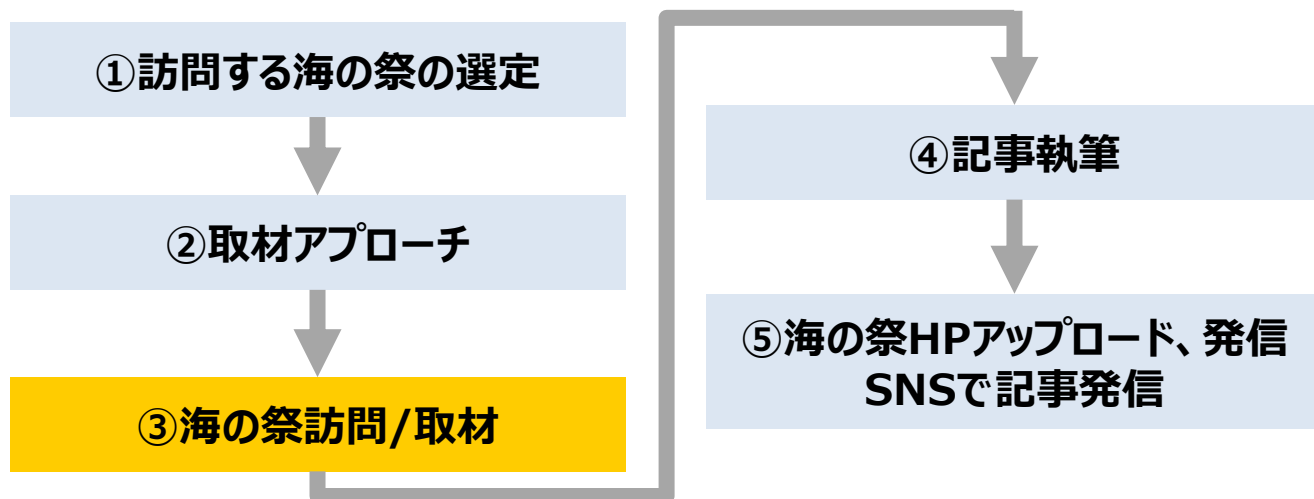
概要

プロジェクト	海の祭りの訪問/開拓
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに海の祭りを訪問/開拓し記事にすることで、海の祭りの物語や魅力を発信し、「海の祭」全体を盛り上げムーブメントを世の中に発信する ・新たな海の祭りの担い手と繋がることで、海の祭りの担い手同士のネットワークを作る足掛かりとする
時期	2019年4月から2020年12月まで ※1
訪問先一覧	<ol style="list-style-type: none"> 1. とも旗まつり（石川県能登町） 2. ホーランエンヤ（島根県松江市） 3. 礼文島巖島神社例大祭（北海道礼文町） 4. 土崎神明社祭の曳舟行事（秋田県秋田市） 5. 姥神大神宮渡御祭（北海道江差町） 6. 琴浦精霊船行事（新潟県佐渡市） 7. 黒島天領祭（石川県輪島市） 8. 坂越の船祭り（兵庫県赤穂市） 9. 三谷祭り（愛知県蒲郡市） 10. サングワチャー（沖縄県うるま市） ※2

※1 新型コロナウイルスの影響により2020年3月までに10か所中1か所の訪問/開拓が中止となったため、2020年3月から2020年12月まで期間を延長

※2 新型コロナウイルスの影響により地域外から来訪不可との地域側の決定により訪問を中止、事業延長後2020年11月現在でも事態収束に至らず財団職員との協議の上中止

訪問/開拓の流れ



訪問に向けた準備

訪問する祭の選定方法

選定担当者	民俗学者1名、JTB総合研究所職員1名、マツリズムスタッフ2名
①テーマ決定	日本の祭に精通している民俗学者と、全国の地域文化・観光に専門的知見のあるJTB総合研究所職員両者と相談を重ね、祭を通じて海洋国家日本の商業・文化の歴史的交流を学ぶことのできる「北前船」をテーマに決定し、北前船寄港地に現存している海の祭を訪問/開拓対象とした
②候補地リスト化	選定担当者、マツリズムスタッフ、マツリズム関係者に協力してもらい、北前船寄港地にあり活動期間中開催する海の祭をリストアップした（55か所）
③訪問地選定	選定担当者で以下の条件をもとに選定 <ul style="list-style-type: none"> ・祭の中に必ず「海」がある（起源、海の神、神輿が海に入る等） ・地域に根付いた信仰に基づく伝統的な祭である ・北前船の文化が色濃く残っている ・規模が大きすぎず小さすぎない ・既にコンタクト先があり訪問/取材の可能性が高い

候補地

➤ 2019年海の祭訪問/開拓 候補地リスト一部

No.	候補地	祭名	開催地	開催日	祭の特徴	備考	お問い合わせ先	備考
1	10020	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
2	10021	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
3	10022	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
4	10023	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
5	10024	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
6	10025	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
7	10026	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
8	10027	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
9	10028	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
10	10029	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
11	10030	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
12	10031	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
13	10032	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
14	10033	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
15	10034	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
16	10035	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
17	10036	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
18	10037	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
19	10038	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
20	10039	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
21	10040	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
22	10041	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
23	10042	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
24	10043	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
25	10044	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
26	10045	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
27	10046	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
28	10047	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
29	10048	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
30	10049	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
31	10050	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
32	10051	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
33	10052	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
34	10053	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
35	10054	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
36	10055	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
37	10056	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
38	10057	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
39	10058	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
40	10059	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
41	10060	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
42	10061	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
43	10062	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
44	10063	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
45	10064	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
46	10065	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
47	10066	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
48	10067	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
49	10068	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
50	10069	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
51	10070	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
52	10071	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
53	10072	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
54	10073	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり
55	10074	長崎の海まつり	長崎県 長崎市	8月1日	長崎の海まつり	長崎の海まつり	長崎県観光協会	長崎の海まつり

訪問に向けた準備

取材アプローチ

➤ 取材依頼書



取材の流れ

訪問者は、取材の手引きに従い当日の写真撮影・インタビュー・祭参加（可能な場合）、訪問終了後記事執筆を行う

➤ 取材の手引き



開拓した海の祭紹介

1. とも旗祭り

場所	石川県鳳珠郡能登町小木
開催日	2019年5月2日、3日
取材日	2019年5月2日
取材者	大原（記事執筆）

とも旗まつりは、石川県能登町の小木漁港にて行われる御船神社の春の例大祭。豊漁祈願・海上安全を願う。。約800枚の紙を継いだのぼり旗（全長30m）を立てた9町会の9隻が小木港周辺を巡航。スルメイカ漁等が盛んな能登ならではの海の祭りだが、近年は漁業が衰退し、地域の若者も少なくなっている。

➤ 祭りの様子



➤ 祭りの記事

2019年5月2日
800枚の紙旗と地域の誇りを海に高らかに掲げる
 とも旗祭り（石川県能登町）

とも旗祭りは、石川県能登町小木漁港にて行われる御船神社の春の例大祭。豊漁祈願・海上安全を願います。約800枚の紙を継いだのぼり…

とも旗祭りの未来を担う高校生の松本くん、瀧くん、右端はマツリズム大原。

とも旗祭りは、石川県能登町小木漁港にて行われる御船神社の春の例大祭。豊漁祈願・海上安全を願います。約800枚の紙を継いだのぼり旗（全長30m）を立てた9町会の9隻が小木港周辺を巡航。スルメイカ漁等が盛んな能登ならではの海の祭りですが、近年は漁業が衰退し、地域から若者も少なくなっているとのこと。今回は、実際に祭りに参加しながら、これからの祭りを担う地域の方や高

開拓した海の祭紹介

2. ホーランエンヤ

場所	島根県松江市
開催日	2019年5月18日、22日、26日（10年に一度）
取材日	2019年5月18日
取材者	西嶋（記事執筆）

ホーランエンヤは、10年に1度行われる松江城山稲荷神社の式年神幸祭の通称。国宝の松江城の中にある稲荷神社からご神霊を神輿に乗せ、大橋川、意宇川を船で渡り、阿太加夜神社へと運び、そこで七日間の大祈禱を行う壮大な祭り。中でもご神霊を警護する絢爛豪華な100隻を越す船団を目当てに川沿いは多くの人出で賑わう。

➤ 祭りの様子



➤ 祭りの記事

2019年5月18日
**城下町に現れる絢爛豪華な水上ア
 リーナは10年先を常に見据える**
 ホーランエンヤ【島根県松江市】

ホーランエンヤは、10年に1度行われる松江城山稲荷神社の式年神幸祭の通称。国宝の松江城の中にある稲荷神社からご神霊を神輿に乗せ、大橋川…

ホーランエンヤ、北前船は唄を乗せて

權伝馬船の航行にあわせ、朗々と唄い上げられる祝い唄。「ホーオオエンヤ ホーランエーエ ヨヤサノサ エーラノランラ」。ホーランエンヤの名前の由来はまさにこの唄。「宝来栄弥」「宝来運弥」とも書くとのことですが、その響きを聴いた途端、パアッと外洋に想像力が開けていくのを感じました。これはまさに「ソーラン節」としても有名な北海道の「鯨場作業唄」の一節と重なります。

「鯨場作業唄」ばかりではありません。全国各地の沿岸に共通する「ホーランエンヤ」の語が見られます。この大元は、伊勢神宮の遷宮の際に各地から木材を持ち寄る行事「御木曳（おこびき）」の際に歌われるものではないか、とされます。それがいつしか、船乗りたちの唄として北前船によって各地に伝えられ、松江、山口、新潟、富山、そして北海道などに「ホーランエンヤ」というハッピーワードを広めていったのです。

3. 礼文島厳島神社例大祭

場所	北海道礼文郡礼文町
開催日	2019年7月14日、15日、16日
取材日	2019年7月14日、15日
取材者	大原、小坂（記事執筆）

礼文島厳島神社例大祭は、毎年7月14・15・16日に行われ、北前船交易による繁栄にある礼文島のルーツが感じられる漁師のお祭り。有名な「ソーラン節」にも繋がる沖上げ音頭と呼ばれるニシン漁の作業唄を唄いながら神輿を担ぎ集落内を練り歩き、神様の前では掛け声に合わせて神輿を宙に放り上げる。

➤ 祭りの様子



➤ 祭りの記事

2019年7月14日
最北の島の漁師の祭り、昔と今を繋ぐ想い
 礼文島厳島神社例大祭（北海道礼文町）

日本最北の島、礼文島。現在は、漁業と花の島として夏には多くの観光客も訪れますが、そのルーツは北前船交易による繁栄にあります。礼文島は二…

全力全開で楽しむ！漁師の心意気

島の若い漁師の三浦さんは言います「楽しくなきゃ祭りじゃない」「思い切り楽しむ空間をつくる人間が必要」。実は9年前にも三浦さんに話を伺っていました。その時の「祭りがあるから島に住んでる」という言葉が今でも強く残っています。9年前に聞いた言葉、そして今年聞いた言葉、そこには三浦さんの祭りに対する強い思いとある種の責任が感じられました。

4. 土崎神明社祭の曳山行事

場所	秋田県秋田市土崎
開催日	2019年7月20日、21日
取材日	2019年7月20日、21日
取材者	小坂（記事執筆）

土崎神明社祭の曳山行事（土崎港曳山まつり）は、1620年から土崎神明社の例祭として古くから全国有数の港町であった土崎（秋田県秋田市）の人々に親しまれてきたお祭りです。2019年は全30台の曳山が市内を練り歩いた。国の重要無形民俗文化財に指定され、2016年にはユネスコ無形文化遺産にも登録された。

➤ 祭りの様子



➤ 祭りの記事



2019年7月20日
「祭りは生き方」伝統を受け継ぎ 共に力をつけていく
 土崎神明社祭の曳山行事（秋田県秋田市）

土崎神明社祭の曳山行事（以下、「土崎港曳山まつり」「祭り」）は、1620年から土崎神明社の例祭として土崎（秋田県秋田市）の方々に親しまれ…



お囃子と演舞の様子

北前船によって運ばれてきた文化

「これ知ってるかい？」宵宮の晩にお邪魔した安田さんのお実家へ、お祭りにはかかせない伝統食、カスベの煮つけをいただきました。お話を伺うと、土崎神明社祭曳山行事は別名「カスベ祭り」ともいわれているそうです。「カスベ」とはアイヌ語で「エイ」を指します。土崎港は古くからの港町。江戸時代から明治時代にかけては西回り航路で活躍した北前船の重要な寄港地として栄え、北前船によ

開拓した海の祭紹介

5. 姥神大神宮渡御祭

場所	北海道檜山郡江差町
開催日	2019年8月9日、10日、11日
取材日	2019年8月9日、10日、11日
取材者	大原、小坂（記事執筆）

北海道江差町で毎年8月9, 10, 11日に開催される**姥神大神宮渡御祭**は、北前船によりもたらされた京都の祇園祭に強い影響を受け始まった豪華絢爛・盛大なお祭り。370余年の歴史をもち、北海道で最も古い祭りとされている。

➤ 祭りの様子



➤ 祭りの記事

2019年8月9日
**江差の1年はこの日のために
 祭りがつくるまちの団練**
 姥神大神宮例大祭（北海道江差町）

北海道江差町で毎年8月9, 10, 11日に開催される姥神大神宮渡御祭は、北前船によりもたらされた京都の祇園祭に強い影響を受け始まった370余年の…

北前船が運んできた能登流のおもてなし

山車の巡行が始まり、はじめは導かれるがままに青坂さんについていきます。江差のお祭りの中でも特徴的なのが「ふるまい」です。山車を曳きながら行く先々で「結構なお祭りです」と挨拶しながら家々に入っていくと、山車を引く人への労いの気持ちもこめて、各家々ではお馳走やお酒を振る舞うのが習わしとなっています。

この「ふるまい」は、能登半島からやってきたもののようです。江差町の生活文化は、もともと隣接する青森県をはじめとする東北地方の生活文化がそのベースとなっていました。北前船が就航するようになってからは、上方や北陸地方、中でも能登半島の石川県珠洲市からの移住者が多数を占めるようになったそうです。珠洲市のキリコ祭りでは「ヨバレ」という招待風習があり、各家庭で親戚や知人、仕事でお世話になっている人などを招いて、この日のために特別に用意した祭り料

6. 琴浦精霊船行事

場所	新潟県佐渡市琴浦
開催日	2019年8月13日、16日
取材日	2019年8月13日
取材者	小坂、伊藤（記事執筆）

琴浦精霊船行事は、新潟県佐渡市の無形文化財で、琴浦地区で毎年行われている盆行事。8月13日に海を渡って精霊をお迎えに行く舟は「あのひのごんせん」、8月16日に精霊をお送りする舟は「このひのごんせん」といわれ、昭和16年の太平洋戦争以前より80年以上続く伝統行事。戦後のご先祖様の送迎としてだけでなく戦争犠牲者の慰霊のためにも行われている。

➤ 行事の様子



➤ 行事の記事

2019年8月13日
生者と共に精霊が海を泳ぐ日

琴浦精霊船行事（新潟県佐渡市琴浦）

「琴浦精霊船行事」は新潟県佐渡市の無形文化財で、琴浦地区で毎年行われている盆行事です。8月13日に海を渡って精霊をお迎えに行く舟を「あのひ…」

青年と共に海を渡るごんせん

それぞれが違う形で抱く琴浦と海への「愛情」

「あのひのごんせん」は青年達とともに、どんどんと沖の方へと消えていきました。残ったのは太陽の陽に照らされて、光を放ちながら気ままに揺れる海。涼やかな波の動きを眺めていると、10分ほど経った頃に子供達のボートが帰ってきました。陸に足が着くと同時にライフジャケットを脱ぎ捨て海にダイブする子、保護者会からアイスももらってそそくさと走り去る子。年齢も考え方も違う子供達。「全然楽しみじゃない。地域の行事だが

開拓した海の祭紹介

7. 黒島天領祭

場所	石川県輪島市門前町黒島町
開催日	2019年8月17日、18日
取材日	2019年8月17日、18日
取材者	今場（記事執筆）、畔津、松村

黒島天領祭は、かつて幕府の天領であった石川県輪島市門前町黒島町地区のお祭りで、キリコ祭りの多い能登半島には珍しい大きな山車「曳山」のお祭り。下見板張りの家々が立ち並び、重要伝統的建造物群保存地区の指定もある街並みを、名古屋城・大阪城をモチーフにした2基の曳山が2日間巡行する。曳山の後方で、掛け声とともに必死に舵取りをする若衆の迫力や、曳山を先導する獅子や奴、御神輿もお祭りに華を添える。

➤ 祭りの様子



➤ 祭りの記事

2019年6月17日
瀟洒！風雅！誇り高い天領のまちが“完成する”日
 黒島天領祭（石川県輪島市）

「黒島天領祭」は、石川県輪島市門前町、黒島町地区のお祭りです。「キリコ」と呼ばれる巨大な灯籠のお祭りが多い能登半島ですが、天領祭はあくま…

海運業で栄えた、誇り高き天領の地。

黒島町があるのは、石川県輪島市門前町。輪島塗りで有名な石川県輪島市は、能登半島の北部に位置しています。金沢市は北陸新幹線が2015年3月に開業しアクセスがよくなったのですが、同じ石川県でも能登半島は交通の便がよくなり、今回は能登空港からレンタカーでお邪魔しました。

黒島町は「北前船」で栄えた町の一つです。当時の海運業者である廻船問屋がこの地に拠点を構えたほか、船頭や船員、船大工などこの地に居を構えるようになり、今に続く集落となっていきました。現在の不便な陸路と、かつての豊かな海上交通のコントラストに想像力を刺激されます。今でも、下見板張りの建物で統一された街並みが、かつての栄華を感じさせます。

8. 坂越の船祭り

場所	兵庫県赤穂市
開催日	2019年10月12日、13日
取材日	2019年10月13日
取材者	西嶋（記事執筆）

坂越の船祭りは、兵庫県赤穂市坂越にある大避神社の秋の祭礼。2012年に国の重要無形民俗文化財に指定。毎年10月の第2日曜日に行われる。獅子舞を露払いに、氏子を代表する「頭人」らが付き従い、海からは手漕ぎの和船「權伝馬」が先導し神輿を乗せた船は湾内を巡航したのち、普段は立ち入り禁止の生島へ渡る。神輿を浜辺から船に移し替える際に浜から船へ渡すバタ板を使って場を賑やかす「バタかけ」が非常に人気。

➤ 祭りの様子



➤ 祭りの記事

2019年10月12日
「赤穂の塩」を全国津々浦々へ送り出した良港が伝える歴史と心意気
 坂越の船祭り（兵庫県赤穂市）

坂越の船祭りは、兵庫県赤穂市坂越（さこし）にある大避（おおさけ）神社の秋の祭礼。2012年に国の重要無形民俗文化財に指定。毎年10月の第2…

い掛け声が聞こえてきます。野太い「よいよやなー」「よいよやなー」という声。赤いハッピに白いフンドシ姿の男たちが、手漕ぎの和船「權伝馬」を威勢よく漕いでいます。2隻の權伝馬が競い合うように岸に近づいては沖に出てを繰り返す、この後、神輿船が巡航する海を清めているようでした。威勢の良い男たちの姿にも目を奪われますが、權伝馬は近代的な設備を一切排した昔ながらの和船。絵巻から抜け出てきたような、数百年当地で続く光景に早速感動してしまいました。

フンドシ姿の男たちが威勢よく漕ぐ權伝馬

開拓した海の祭紹介

9. 三谷祭り

場所	愛知県蒲郡市三谷町
開催日	2019年10月26日、27日
取材日	2019年10月26日、27日
取材者	大原、今場（記事執筆）、伊藤

愛知県蒲郡市にある三谷町にて、毎年10月の第3または第4土日（潮位による）に開催されるのが三谷祭で、八劔神社・若宮八幡神社例大祭。、約300年前の故事に基づき、豪華絢爛な4基の山車が「八劔神社」「若宮八幡神社」という二つのお社を行き来する。2日目には、その4基の山車と男衆が海へ入る「海中渡御」が披露され、多くの観光客が見物に訪れる。各区による神前に奉納される芸能が、二日間二社の境内を彩る。

➤ 祭りの様子



➤ 祭りの記事




2019年10月27日
まちへの愛と誇りで作り上げる、三谷町のハレの日
 三谷祭（愛知県蒲郡市）

愛知県蒲郡市にある三谷町にて、毎年10月の第3または第4土日（潮位による）に開催されるのが三谷祭（みやまつり）八劔神社・若宮八幡神社例大祭…



「とにかく楽しいんだ」笑顔と誇りのお祭り

三谷祭に参加して最も印象的だったのは、お祭りに関わる皆様の、笑顔と誇りです。大の大人が童心に返って、本当に無邪気な笑顔で祭りを楽しむ光景があふれていました。お世話になった中区若獅子会の山田会長は、年齢こそ52歳ですが、子供のような顔でお祭りを楽しんでおられるのです。



マツリズム大原、今場と談笑する山田会長（真ん中）



振り返り

良かったこと

- 丁寧なコミュニケーションを心がけ一緒に祭りに参加しながら取材することで、海の祭の担い手との信頼関係ができた。結果、2019年プロジェクトの集大成である実施報告会「海の祭大会議」にたくさんの担い手に参加してもらえた
- 専門家が入ったことで、テーマ選定から訪問地選定までスムーズに行えた
- 専門家の知見を生かした祭りの選定により、魅力のある祭りを取材できた
- 専門家やマツリズムスタッフなど、多様な取材者が訪問・開拓したため、取材者毎の視点で魅力を抽出・記事化することができた
- この訪問/開拓を通じて海を通じた文化交流など新しい気づきを得た
- 全国の海の祭との接点が増え、その特徴や魅力を学習・体感することができたことにより、ツアー以外の祭りへの貢献方法を知ることができた
- ライターのアドバイスをもとに、依頼書を通じた取材アプローチ・記事のフォーマット・レビューをしっかりと行うことができ、記事の量や質（失礼にならない、魅力の掘り下げ方等）を保つことができた

反省点/改善点

- 訪問地選定や取材者の決定が遅く、直前に準備を進めることが多かったためスタッフの負担が大きくなった
- 記事の字数や写真の枚数・記事執筆後の手順詳細（校正や地元確認など）を明確に決めていなかったため修正に時間がかかり、最終チェックの負担が増えた。結果、web業者への提出納期に間に合わず、発信が遅れてしまった記事もあった
- 外部委託者も取材に入ったため、マツリズムとの立ち位置が曖昧で地域側とのコミュニケーションに混乱を招いてしまった部分もあった

今後に向けて

- 反省点を踏まえて作成したガイドラインをもとに準備を進めていく
- 今後の繋がりを保つため海の祭訪問/開拓に行くメンバーは重要なため、条件を明確化し的確な選定を行う
- 訪問/開拓で繋がった海の祭の担い手と海の祭大会議は、互いに大変重要な存在であり、双方への注力が必要

イベント概要

タイトル	海の祭大会議2019
目的・ねらい	日本全国の「海にまつわる祭の担い手」が集結して交流する、日本で初めての試み。各地の祭の魅力を知り、それぞれの祭の発展や未来をつくっていくための意見交換を行い、これまで知らなかった「海の祭」の魅力と可能性を探り発信していく場
日程	2019年12月7日
開催場所	日本財団ビル8F（東京都港区赤坂1-2-2）
参加人数	49名（海の祭の担い手・大学生・社会人。新規開拓で訪れた9地域中6地域10名を含む）
報告方法	イベント内今年度のプロジェクト、海の祭訪問/取材実施報告にて、マツリズム代表より本プログラムの内容・成果についてイベント参加者へ向けて発表。実際に取材に訪れたスタッフも登壇し、それぞれの海の祭の説明に加え、祭りの一般的な見どころだけではなく地域に入って見聞きしたことで気づいた魅力について発表した。
告知方法	「海の祭ism」プロジェクトで今年関わった祭の担い手と体験プログラム参加者へ直接連絡（メール、SNS等）

実施内容

- 16:00 受付開始
- 16:30 開会・オープニング
 - 第1部 ゲストトーク
 - 第2部 海の祭ismプロジェクト報告
 - ・海の祭体験プログラム
 - ・祭りの実態調査結果
 - ・海の祭訪問／取材
 - 第3部 祭の課題解決ワークショップ
- 19:00 懇親会
- 20:00 終了



実施報告会について

当日の様子（海の祭大会議体験プログラム実施報告）

2019年度プロジェクト報告



海の祭訪問/開拓実施報告



実際に取材/記事化したスタッフが登壇



多くの人に海の祭の魅力を伝えた



開拓で繋がりを得た海の祭の担い手達



WSで意見交換する海の祭担い手同士

